教員データ

教員コード　：　130603

学短　：　大学

所属　：　理学療法学科

専任/非常勤　：　専任教員

職名　：　教授

氏名　：　小竹 伴照

tomomitsu kotake

研究分野	ライフサイエンス/リハビリテーション科学
研究内容キーワード	リハビリテーション医学
主な学位・資格	博士（医学）の学位（名古屋大学） 日本リハビリテーション医学会指導医 日本リハビリテーション医学会専門医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本整形外科学会専門医 日本体育協会公認スポーツドクター（現在は日本ｽﾎﾟｰﾂ協会に名称変更）
担当経験のある科目	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学、筋骨格系障害学、神経系障害学、人間発達学、公衆衛生学、老年学、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ概論、臨床医学、障害回復支援理学療法論、理学療法研究、理学療法演習Ⅰ、理学療法演習Ⅱ
主な研究業績	＜博士論文＞ 1)Kotake T, Dohi N, Kajiwara T, Sumi N, Koyama Y, Miura T.: An analysis of sit-to-stand movements.Arch Phys Med Rehabil. 1993 ;74(10):1095-1099. ＜英文論文＞ 1)Joe Senda, Keiichi Ito , Tomomitsu Kotake, Masahiko Kanamori, Hideo Kishimoto , Izumi Kadono, Yoshiro Suzuki , Masahisa Katsuno, Yoshihiro Nishida,Naoki Ishiguro , Gen Sobue: Association of leukoaraiosis with convalescent rehabilitation outcome in patients with ischemic stroke.Stroke2016;47(1)160-166 2）Suzuki T, Sonoda S, Misawa K, Saitoh E, Shimizu Y, Kotake T.：Incidence and consequence of falls in inpatient rehabilitation of stroke patients. Exp Aging Res. 2005 ;31(4):457-69. 3)Senda J, Ito K, Kotake T, Kanamori M, Kishimoto H, Kadono I, Nakagawa-Senda H, Wakai K, Katsuno M, Nishida Y, Ishiguro N, Sobue G.:Cilostazol use is associated with FIM cognitive improvement during convalescent rehabilitation in patients with ischemic stroke: a retrospective study.Nagoya J Med Sci. 2019 ;81(3):359-373 4)Suzuki T, Sonoda S, Saitoh E, Murata M, Uno A, Shimizu Y, Misawa K, Kotake T:Development of a novel type of shoe to improve the efficiency of knee-ankle-foot orthoses with a medial single hip joint .(Primewalk orthoses): a novel type of shoe for Primewalk orthosis.Prosthet Orthot Int. 29(3) : 303-11, 2005 5)Suzuki T, Sonoda S, Misawa K, Saitoh E, Shimizu Y, Kotake T:Incidence and consequence of falls in inpatient rehabilitation of stroke patients.Exp Aging Res. 31(4): 457-69, 2005 6)Joe Senda, Keiichi Ito, Tomomitsu Kotake, Masanori Misuno, Hideo Kishimoto, Keiso Yasui, Masahisa Katsuno, yoshihiro Nishida,Gen Sobue: Investigation of inpatient convalescent rehabilitation outcomes in branch atheromatous disease. Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases , Vol.32,NO.3(March),2023:106937,2023 ＜和文論文＞ 1)小竹伴照、土肥信之: CT像による脳血管障害片麻痺患者の体幹お よび下肢筋の検討.日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学会誌第28巻第8号.1991 2）その他に、和文論文(共著も含む）は約50数篇程度あり。 ＜著書＞ 1)精神心理的アプローチによるリハビリテーション医学 .分担執筆. 医歯薬出版（編者：水島繁美、土肥信之）平成4年 2)リハビリテーション基礎医学（第2版）.分担執筆. 医学書院(編 者：上田 敏、千野直一、大川嗣雄).平成６年. 3)関節モーメントによる歩行分析. 分担執筆. 臨床歩行研究会. 平成 9年. 4)リハビリテーションMOOK「リハビリテーション診断と評価」. 金原出版（主幹、千野直一、安藤徳彦. 編集、大橋正洋、木村彰 男、蜂須賀研二）. 平成12年.

	5)関節モーメントによる歩行分析（第２版）.分担執筆. 臨床歩行研究会. 平成13年
学歴	昭和57年大阪市立大学医学部卒業 昭和57年医師国家試験合格 平成５年博士（医学）の学位取得（名古屋大学）
主な職歴(経歴)	昭和57年大阪市立大学医学部卒業後、名古屋大学医学部整形外科の関連病院などにて勤務。平成１年から藤田保健衛生大学七栗ｻﾅﾄﾘｳﾑなどでﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医としてﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学に関する臨床経験を積み、同時に教育や研究などにも従事。その後にﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ関連の病院で管理職などを務めた（平成30年に病院を退職）。平成17年4月には豊橋創造大学ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部理学療法科特任教授。 ＜教育関係＞ 1)平成 7年 4月～平成 12年 ３月 藤田保健衛生大学医学部講師 （七栗ｻﾅﾄﾘｳﾑ.ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科勤務） 2)平成 12年 4月～平成13年3月 藤田保健衛生大学医学部客員講師 3)平成１３年４月１日～平成１６年３月３１日 藤田保健衛生大学医学部客員助教授 4)平成15年4月～平成17年3月 浜松医科大学医学部臨床助教授 5)平成17年4月7日～平成30年3月31日 名古屋大学院大学医学部非常勤講師 6)平成17年4月 豊橋創造大学ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部理学療法科特任教授
所属学会	日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学会（評議員、指導医、専門医、臨床認定医） 日本整形外科学科（専門医） 日本摂食嚥下ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学会（社員（評議員）） 日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学会中部東海地方会（幹事） 愛知県整形外科医会ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ研究会（幹事）
受賞歴	下記論文（筆頭著者.千田）は、平成22年度日本リハビリテーション最優秀論文賞を受賞した。 千田 譲, 伊東 慶一, 濱田 健介, 小竹 伴照, 岸本秀雄, 祖父江元 :脳梗塞病型別にみた回復期ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ成績の検討-MRI白質病変との関係-.Jpn J Rehabil.2010；47：559-568
researchmapのリンク先	